

## 2025年度 稗田小PTA 活動方針(案)

「できるひとが、できることを、  
できる範囲で」  
の敷居をより低く。  
「子どもたちのために」  
を実感できる活動をより広く。  
そんなコミュニティを目指しています。

稗田小学校PTAも、2018年度までは各クラスから3名ずつ選出された委員が中心となって、もろもろの活動を展開していました。19年度に体制&活動内容を見直し、委員制は廃止に。20年度以降、「できるひとが、できることを、できる範囲で」参加しやすい／参加したくなる運営を目指してきました。

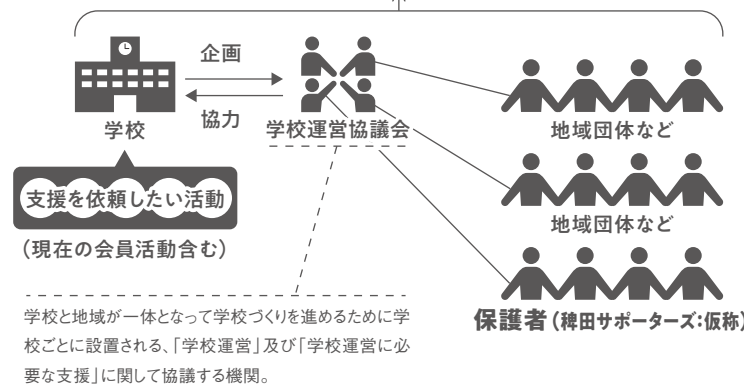
このような経緯をふまえて、今、ありがたいことに、名実ともに任意団体となってからも、稗田小学校では8割以上のご家庭がPTAの存在・活動に賛同し、加入してくださっています。一方で、PTA活動へのご参加がなかなか奮わないのも現実です。お仕事や家庭の事情もありだと思います。少数の役員では“楽しいイベント”の企画や広報にまで手が回らず、会員の皆さまと疎遠になっている部分もあると思います。保護者だけで「子どもたちのため」に何かをしようとするのは、もう時代にそぐわないのかもしれない。

このたび、地域のご協力も得ながら「子どもたちのため」の活動をしていく方向に舵をきりたいと思います。幸い、地域のリーダーの方々からは「いつでも協力するよ」とあたたかいお言葉をいただいています。PTAとして大きな決断になりますが、会員の皆さまに賛同いただけるとうれしく存じます。(会長 藤川舞佑子)

# 2026年度より

# 「稗田小PTA」を「稗田サポーターズ(仮称)」に移行する

ボランティア団体 /



## 2025年度は 移行期間として、 移行準備とPTA組織のクローズを進めます。

PTA会員の皆さまと意見交換をしながら!

- ① 会員活動  
PTA活動としては休止し、学校主体で試験運用します。  
・資源回収 ・ベルマーク  
・周辺清掃 ・リユース  
・稗田街園
- ② PTA会費  
特段の会員活動を行わないため、会費はゼロ。本部運営や部活動の最低限の予算は、既存の余剰金で賄います。
- ③ 余剰金  
学校に寄付する方向で、稗田太鼓など「子どもたちのため」に適う具体的内容を皆さまにも伺いながら検討します。
- ④ 役員・監査  
PTAクローズは新役員を募らず、経験値がある現役員で続投可能なメンバー+αで。移行準備チームは、保護者OB含めて4月以降に募集予定です。

2025年度活動方針案 ならびに Q&Aは、「稗田だよりWEB版」に掲載しています →



ウラ面、2024年度PTA活動レポートもぜひご覧ください。

## 移行する3つのメリット

01 在校生保護者だけで活動を賄わなければならない状況がなくなる  
受付応援や清掃など参加者が奮わず行き詰まっていた活動も、在校生保護者だけでなく、地域の協力を得ながら実施しやすくなります。

02 子どもたちに直接関わる活動に参加しやすくなる  
ブールや彫刻刀、ミシンなど子どもたちの学習支援には人数確保が必要で、現在のPTAでは対応がむずかしく見送っていた活動にも、ボランティアとして参加しやすくなります。

03 興味・関心のある活動に参加しやすくなる  
活動単位の登録制を予定しているので、「やってみたいな」「これならお手伝いできるかも」といった活動に焦点を当ててボランティア参加しやすくなります。

方向で検討を進めていきます。

このお便りの内容やPTA活動へのご意見・ご感想がございましたら、ご意見箱(右記QRコード)にお寄せください。PTA総会準備の都合上、4/1(火)を一旦のメ切とさせていただきます。



こちらは  
ウラ面です

オモテ面、2025年度PTA活動方針案もぜひご覧ください。

# 稗田小PTA 2024年度活動レポート

よりミニマルに、より身軽に——

できるひとが、できることを、できる範囲で——

を基本路線に、次の活動を展開してきた2024年度。  
そのなかからおもだった動きを3つピックアップします。

可能な範囲で  
全会員が

通学見守り

ベルマークの持ち込み

ウェブベルマークの利用

資源回収(資源ごみの持ち込み)

担当日を決めて  
学年ごとに

周辺清掃

都度募集しながら  
サポーターを

資源回収(トラック便への積み込み)

ガーデニング

学校行事当日の受付応援

落ち葉清掃

ベルマーク自宅作業・集計

「どうぞ」の交換  
無人運用で

学用品リユース

ベルマークは、私たちが

「子どもたちのため」の設備・教材に直接関われる貴重な機会。

⇒ 最大限活用しました!

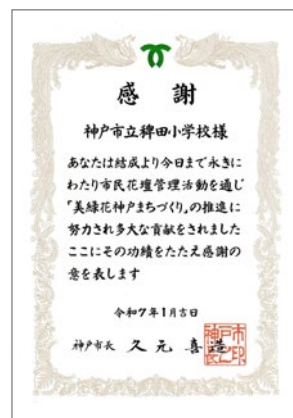


今年度も稗田小PTAのベルマーク活動が公益財団法人ベルマーク教育助成財団に表彰されました。3月、その賞金+前年度の賞金で赤鉛筆を購入し、全児童に1本ずつ配布しました。



2022~2024年度に貯まったベルマーク収入で、一輪車2台(20インチ・24インチ)と一輪車練習用手すりを購入しました。これまで稗田小には一輪車を練習するのにちょうどいい手すりがなかったので、これを機に一輪車を楽しんで乗れる子どもたちが増えたらうれしいです。

稗田街園のガーデニング活動に、神戸市から感謝状をいただきました。



稗田小北側、山手幹線沿いにある花壇は、「稗田街園」といって神戸市の市民花壇に登録されています。その始まりなどの記録は残っていないのですが、PTAを中心に管理・維持してきており、今年1月、神戸市から感謝状をいただきました。

春にはベゴニアとマリーゴールドの苗を、秋にはパンジーとノースポールの苗を植えています。花の水やりは、地域の方々にも協力をいただいています。コロナ禍など

の時には花壇の手入れができず、雑草が伸び放題で荒れていたこともあるそうですが、その際にはごみの放置やたばこの吸い殻が目立ったそうです…。稗田小学校100周年を機に花壇の柵をきれいにし、花壇がきれいに管理されている今は、ごみの放置もほとんどなく、かわいらしいお花が私たちがたのしませてくれています。



山手幹線の地下道って、衛生的に、防犯的に

通学路として「うーん……」と思ったことはありませんか。

⇒ もしも通学路を変更するとしたら? 学校と意見交換しました。

「衛生面・防犯面で、山手幹線の地下道は通学路にふさわしくないのでは?」という疑問は、かねてより保護者のあいだで聞かれてきました。学校が2023年度に実施した保護者アンケート(2024/1/19すぐーる配信「R5保護者アンケート結果.pdf」)でも同様の声が寄せられており、今年度、「もし、地下道を使わない通学路に変更するとしたら?」のメリット・デメリットを、学校とPTA本部で意見交換しました。

通学路の安全に対する考え方は、神戸市教育委員会として一律の基準はなく、各校に判断が委ねられているそう。そして、「登下校の見守りはできるだけ地域の協力をえるように」とい

う方針があるとのこと。学校としては、全体の安全の確保(子どもたちが登下校で交通事故に遭うリスクをできるだけ下げる)が最優先。もちろん私たちも同意見です。山手幹線の横断歩道を渡るかたちにもしも通学路を変更する場合には、安全面のリスク軽減策として、相応の見守り体制の強化が欠かせないこと。今は地域の方に協力いただいている登校見守りも含めて、保護者の見守り参画が必須事項になること。この点が最大のネックになることを確認し合いました。

今後も通学路に対する不安が芽生えたときは学校に相談してください。学校運営協議会で地域全体で検討し、必要に応じて行政その他に働きかけていきます。

このお便りの内容やPTA活動へのご意見・ご感想がございましたら、ご意見箱(右記QRコード)にお寄せください。PTA総会準備の都合上、4/1(火)を一旦のメ切とさせていただきます。

